

図書館時間外開館担当要員になって



(左から)

後列 武田 雅斗(4D)
西潟 亮博(4S)
栗田 英憲(4M)

前列 仁平南帆子(4C)
小澤 恭平(4E)

物質工学科4年 仁平南帆子

高専の図書館は、一般の方々にも開放されていて、たくさんの本があることは、入学した頃から知っていましたが、私は、課題の整理やレポートの作成などでしか利用していませんでした。利用する本も、一部の専門書だけでした。しかし、図書館のアルバイトで書架の整理をするようになって、数多くの種類の本が置いてあることを知りました。各分野の専門書はもちろん、小説、雑誌、教材、漫画、新聞に至るまでありとあらゆる本が並んでいました。それまでの3年間、ほとんど図書館へ足を運んでいなかった事を、もったいなかったなと感じました。

図書館はとても身近にあり、必要とされる本はほとんど揃っているといっても過言ではないと思います。だからもっと多くの人に利用してほしいです。実際に、今年度からは定期テスト期間中の土日祝日は、夕方まで開館するようになり、以前より利用しやすくなりました。私自身もアルバイトは4月からはなくなりますが、これまで以上に図書館を活用し、研究や学習に役立てていきたいです。

最後に、短い間でしたが、職員の皆さんありがとうございました。

電気工学科4年 小澤 恭平

4月から図書館の時間外開館担当要員となり、今までと比べると図書館にいる時間はとても長くなりました。しかし、図書館にいることは楽しく、飽きることはありません。それは、ちょっとした発見がたくさんできるからです。時間があるときに、本や新聞、雑誌をめくると、今まで知らなかったことを知ることができました。

そして、業務をしているうちに気づいたことがあります。それは、図書館は校内で最も情報の集まっている場所ではないかということです。図書館では様々な媒体より情報を手にいれることができます。書籍の種類も豊富ですし、新着図書のコナーやシラバスコナーなどと棚を分けておいてあるので、あるいは蔵書検索システムを利用することで、目的の書籍を早く見つけることができます。タイムリーな情報は、新聞や雑誌より得ることができます。ビデオ・DVD・CDを利用すれば、映像や音声の情報も得られます。またパソコン端末からコンピュータネットワークを通してWWWを利用すれば、世界中から発信されている情報も得られます。

これから、情報が大きな価値を持つ時代となると、

ますます図書館の役割は大きくなるだろうと思いました。

ありがとうございました。

電子情報工学科4年 武田 雅斗

3年の終わりの頃、私は教室で図書館時間外開館についての事務員の募集をしているポスターを見ました。私はそれまでアルバイト等はしたことなかったので、興味を持ち、これに応募しました。そして4年になって、図書館に働くことになりました。

始めは、カウンターでの貸出や返却処理や圖書の整理、図書館の閉館等の仕事に馴れてなかった為か少し戸惑いました。しかし、今となってはすっかり馴れ、時間が取れるようになり、前では余裕がなく、出来なかった事ややりたかった事などが出来るようになってきました。

この図書館での私たちの仕事は、カウンター業務が時間の多くを占めているので、貸出処理をする時以外でも、1人はカウンターにいなければなりません。なので、その時間を利用し、本と雑誌を読んだり、勉強したりしています。

ただ、稀に教官室等から図書館まで、本の受取りに行く時があります。これだけはかなり疲れますね。

まあ、ゆったりとした空間で仕事したい人には、お勤めの仕事です。来年度で4年になる人でそのような人がいたら、ぜひやってみてください。

電子制御工学科4年 西潟 亮博

月日が流れるのは早いもので、この仕事を続けられるのもあと二ヶ月とちょっとだけとなりました。普段は目にしないようなたくさんの本を皆さんに貸し出す作業や、返ってきたものを書架に戻す作業、書架の整理 鍵の返却や、新聞を置いたりと実に様々な作業をしてきました。この仕事を始める前から本を読むことは頻繁にあったのですが、この仕事を始めてからは、さらにそうした機会が増えていたと思います、特に今まではレポートなどのためにしか図書館を利用していなかったため、雑誌や小説、漫画や新聞と色々なものがあったことを知ったことで、

レポート以外でも図書館を利用する機会が増えていきました。

また、そうやって働きながら得たお金でさらに色々な本を買うことが出来、この数ヶ月間は今まで一番本を読むことが多かったと思います。バイトをしながらだと勉強のほうに不安になるかもしれませんが、逆にどこにどんな本があるのかがわかりレポートなどの資料を簡単に見つけられたり、仕事の時間などでも空いた時間を利用して勉強することが出来たので苦になることはありませんでした。最後に、勉強とバイト二つを両立させたい人にとって、この仕事はとて素晴らしいものだと思いますのでやってみてほしい方は来年がんばってみてはいかがでしょうか。

機械工学科4年 栗田 英憲

時が流れるのは早いもので、この仕事をするのも残り少なくなってきました。

さて、図書館のアルバイトをしていて常に感じることは、仕事の割に時給が高いことです。毎日の仕事はあるのですが、見てもわかるように仕事をしていない時間のほうが長いです。その間、僕達は各々でレポートをしたり、勉強したり、本を読んでいたります。それで、給料を貰っているわけですから、もうウハウハです。じゃなくて、こういった環境を用意してくれた図書館事務員の方々に感謝するばかりです。

また、今年度からテスト一週間前からの休日に午前9時から午後5時まで開館することになりました。テストだけあってたくさんの方が利用しますが、利用者のほとんどなどがテスト勉強をしているので、本を借りることは少ないです。なので、もともと少ない仕事がさらに少なくなるので、もうウハウハです。じゃなくて、その時間をテスト勉強に役立てています。

最後に、この一年間図書館で働くという貴重な経験ができました。大変な仕事ではないですが、最後までしっかり仕事を全うし、この経験をいかせるようにしていきたいです。それが、これから自分に課せられる仕事だと思っています。